

平成30年度第5回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成30年11月27日（水）午後2時30分～午後2時55分
開催場所	本館 地下打合室3～5
出席者	市長、副市長、総務部長、危機管理部長、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長、産業観光部長、都市整備部長、教育委員会事務局事務部長（代理：学校統合推進室長）、上下水道部長（代理：上下水道課長）、病院経営推進部長
審議事項	
	(1) 「伊勢廃棄物投棄場を駐車場利用することについて」 ＜環境生活部、都市整備部＞

1 「伊勢廃棄物投棄場を駐車場利用することについて」

＜環境生活部、都市整備部＞

概 要

神宮周辺の渋滞対策として三重県営サンアリーナ周辺等でパーク&バスライドを実施しているが、駐車場として利用している土地については、メガソーラーの設置、企業誘致用地への企業進出、学校移設用地等により駐車場が不足してきている。

このため、現在の伊勢廃棄物投棄場を廃止し、当該土地を交通対策の駐車場として利用することについて審議を行った。

主な内容については、以下のとおりである。

(1) 経過及び今後の方針

伊勢廃棄物投機場は昭和47年11月に開催しており、平成10年9月の約78,000㎡を部分廃止し、平成20年に廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、指定区域を定め、土地の安定化を図っている。また、残りの伊勢廃棄物投棄場約23,000㎡は、平成19年度まで埋立てをしていたが、平成20年度からガレキ類の埋立て処分を行わず、ガレキを一時仮置きし、リサイクル業者においてリサイクルしており、埋立て処分を行っていない状況である。他の埋立てについては、小俣投棄場に移動して埋立て処分を行っている。

一方、神宮周辺の渋滞対策として、三重県営サンアリーナの駐車場やその周辺でパーク&バスライドを実施してきたが、メガソーラーの設置、企業誘致用地への企業進出、学校移設用地等により、駐車場としての用地の確保に苦慮しており、円滑な交通対策の実施に危惧している。

今後、国体などの大規模な集客イベントも予定されていることから、伊勢廃棄物投棄場を廃止し、法令遵守した上整備を行い、交通対策の駐車場として利用を検討する。

※伊勢廃棄物投棄場の現状

- ・面積：約 23,000 m²
- ・施設：旧缶類の破砕施設と建屋、ストックヤード
- ・付帯施設：計量器、事務所、道具庫簡易トイレ
- ・その他：国土交通省三重河川事務所 浚渫土 宮川・横輪川 ※H22
約 12,000 m³
勢田川 ※H30
約 7,000 m³
維持課の側溝土砂 3年間仮置きして委託 ※リサイクル
約 3,000 t

(2) 投棄場の廃止及びパーク&バスライドの駐車場としての利用について

- ・現在の投棄場を廃止し、既存の機能を隣接する東側の土地に移設した後、盛土造成を行い、パーク&バスライドの駐車場として利用する。
- ・スケジュールについては、平成 33 年 1 月の初参り時期までに整備する。

結 論 提案された内容のとおり進めることと決定した。

主な意見・補足等

- ・パーク&バスライド以外の利用はあるのか
⇒ゴールデンウィークと年末年始の利用以外に国体での利用、また、サンアリーナのコンサートに伴う利用も考えている。
- ・投棄場廃止に伴う問題等ないか
⇒県に廃止の届出を提出し、国のガイドラインを遵守していくもの。
また、投棄場の機能は隣接土地に移動させること、埋立てをしなければならないものは現在も小俣投棄場で処理しているため問題はない。

資 料 付議事項書